



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月5日

上場会社名 株式会社薬王堂ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7679 URL <https://www.yakudo-hd.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西郷 孝一
問合せ先責任者（役職名） 取締役副社長（氏名） 西郷 泰広（TEL）019-621-5027
半期報告書提出予定日 2026年10月9日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（ 機関投資家・アナリスト向け ）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	89,759	8.4	3,289	△5.3	3,239	△9.5	2,232	△11.8
2026年2月期中間期	82,821	7.9	3,472	9.2	3,577	7.4	2,530	7.1

（注）包括利益 2027年2月期中間期 2,234百万円（△11.8%） 2026年2月期中間期 2,534百万円（ 8.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	114.75	—
2026年2月期中間期	129.33	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期中間期	118,972	41,897	35.2
2026年2月期	103,173	40,227	39.0

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 41,897百万円 2026年2月期 40,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2027年2月期	—	0.00			
2027年2月期（予想）			—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,050	13.0	5,520	4.4	5,480	0.2	4,030	0.0	207.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年2月期中間期	19,740,219株	2026年2月期	19,740,219株
2027年2月期中間期	289,229株	2026年2月期	289,229株
2027年2月期中間期	19,450,990株	2026年2月期中間期	19,563,685株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. その他	9
(1) 仕入及び販売の状況	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響や、継続的な物価上昇、金利上昇などによる企業の経済活動や個人消費への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属するドラッグストア業界においては、競合他社の出店や価格競争が激化しているほか、物価上昇に伴う消費者の節約志向も継続していることから、経営環境としては厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは2025年4月に策定した中期経営計画に基づき、5つの重点戦略を推進してまいります。特に「出店戦略」では、基盤となる東北エリアでの出店を進めるとともに、前年進出した関東エリアへの超高速ドミナント出店を推進し、青森県4店舗、宮城県1店舗、福島県1店舗、栃木県3店舗、茨城県4店舗の合計13店舗のドラッグストアを新規出店し、岩手県1店舗を閉店いたしました。この結果、当中間連結会計期間末の店舗数は468店舗（うち調剤併設型4店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。また、「店舗戦略」の一環として、28店舗の改装を実施し、レイアウト標準化を着実に進めております。さらに、販売価格や品揃えの強化による来店客数および買上点数の増加を図る一方で、店舗作業の削減や物流効率化によるローコストオペレーションも推進しております。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は897億5千9百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は32億8千9百万円（前年同期比5.3%減）、経常利益は32億3千9百万円（前年同期比9.5%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は22億3千2百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

なお、当社グループはドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。主要なドラッグストア事業における部門別の業績は次のとおりです。

① ヘルス

医薬品は胃腸薬等が伸張り、衛生用品では生理用品や介護用紙おむつ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比4.5%増加し、139億7千1百万円となりました。

② ビューティ

化粧品は基礎化粧品や男性化粧品等が伸張り、トイレタリーではヘアケアやオーラルケア等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比10.1%増加し、122億2千万円となりました。

③ ホーム

日用品は家庭紙や衣料洗剤等が伸張り、バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比12.0%増加し、199億4千5百万円となりました。

④ フード

食品は日配品や冷凍食品、嗜好品等が伸張り、酒類では酎ハイ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同期比7.5%増加し、434億7千2百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、1,189億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ157億9千8百万円の増加となりました。

流動資産は607億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ111億1千7百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金が87億8千2百万円増加、商品が19億3千万円増加したことがあげられます。

固定資産は582億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億8千万円増加しました。主な増加要因は、新規出店や改装等により有形固定資産が43億5千3百万円増加したことがあげられます。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、770億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ141億2千8百万円の増加となりました。

流動負債は378億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億7千万円増加しました。主な増加要因は、買掛金が22億8千4百万円増加したことがあげられます。

固定負債は391億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ89億5千7百万円増加しました。主な増加要因は、長期借入金が81億9千2百万円増加したことがあげられます。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、418億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億7千万円の増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金が16億6千7百万円増加したことがあげられます。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ87億8千2百万円増加し、187億9千5百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローとそれらの主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は52億8千8百万円(前年同期は51億4千1百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前中間純利益が32億3千9百万円となったことや、減価償却費が20億6千万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は53億4千5百万円(前年同期は54億3千5百万円の支出)となりました。これは、主に新規出店や改装等に伴う有形固定資産の取得による支出が48億3千2百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は88億3千9百万円(前年同期は1億円の収入)となりました。これは、長期借入金による収入が130億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が31億7千5百万円あったことや、配当金の支払額が5億6千3百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点において2026年4月6日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,013	18,795
売掛金	2,198	3,314
商品	33,735	35,665
その他	3,669	2,959
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	49,616	60,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,891	37,942
土地	619	619
その他(純額)	8,061	11,363
有形固定資産合計	45,572	49,925
無形固定資産	1,085	1,281
投資その他の資産	6,899	7,030
固定資産合計	53,556	58,237
資産合計	103,173	118,972
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,421	21,705
1年内返済予定の長期借入金	5,642	7,273
未払法人税等	926	1,185
契約負債	996	1,058
賞与引当金	693	853
店舗閉鎖損失引当金	3	3
その他	5,039	5,813
流動負債合計	32,722	37,893
固定負債		
長期借入金	22,405	30,598
資産除去債務	2,007	2,043
その他	5,809	6,538
固定負債合計	30,223	39,180
負債合計	62,946	77,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,311	2,311
利益剰余金	38,435	40,103
自己株式	△622	△622
株主資本合計	40,223	41,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	6
その他の包括利益累計額合計	3	6
純資産合計	40,227	41,897
負債純資産合計	103,173	118,972

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	82,821	89,759
売上原価	64,878	70,063
売上総利益	17,942	19,695
販売費及び一般管理費	14,470	16,406
営業利益	3,472	3,289
営業外収益		
受取利息	13	22
受取事務手数料	99	107
固定資産受贈益	23	19
その他	62	80
営業外収益合計	198	229
営業外費用		
支払利息	85	279
その他	7	0
営業外費用合計	93	279
経常利益	3,577	3,239
税金等調整前中間純利益	3,577	3,239
法人税、住民税及び事業税	1,151	1,019
法人税等調整額	△104	△12
法人税等合計	1,047	1,007
中間純利益	2,530	2,232
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-
親会社株主に帰属する中間純利益	2,530	2,232

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	2,530	2,232
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	2
その他の包括利益合計	4	2
中間包括利益	2,534	2,234
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,534	2,234
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,577	3,239
減価償却費	1,615	2,060
賞与引当金の増減額(△は減少)	137	160
契約負債の増減額(△は減少)	41	62
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△3	-
受取利息及び受取配当金	△13	△22
支払利息	85	279
売上債権の増減額(△は増加)	△754	△1,115
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,859	△1,930
仕入債務の増減額(△は減少)	3,835	2,284
その他	340	1,323
小計	6,003	6,340
利息及び配当金の受取額	6	15
利息の支払額	△87	△295
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△780	△771
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,141	5,288
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,727	△4,832
無形固定資産の取得による支出	△379	△265
敷金及び保証金の差入による支出	△293	△250
その他	△34	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,435	△5,345
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,000	13,000
長期借入金の返済による支出	△1,757	△3,175
自己株式の取得による支出	△322	-
リース債務の返済による支出	△270	△420
配当金の支払額	△548	△563
財務活動によるキャッシュ・フロー	100	8,839
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△193	8,782
現金及び現金同等物の期首残高	7,166	10,013
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,972	18,795

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループはドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. その他

(1) 仕入及び販売の状況

当社グループは、ドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいことから、ドラッグストア事業における部門別及び地域別の仕入及び販売の状況を記載しております。

① 仕入実績

当中間連結会計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	9,425	13.9	9,512	13.2	+0.9
ビューティ	8,458	12.5	8,716	12.1	+3.1
ホーム	14,826	21.9	16,279	22.7	+9.8
フード	34,965	51.7	37,395	52.0	+6.9
合 計	67,676	100.0	71,904	100.0	+6.2

② 販売実績

イ. 部門別販売実績

当中間連結会計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	13,369	16.2	13,971	15.6	+4.5
ビューティ	11,099	13.4	12,220	13.6	+10.1
ホーム	17,802	21.5	19,945	22.3	+12.0
フード	40,426	48.9	43,472	48.5	+7.5
合 計	82,697	100.0	89,609	100.0	+8.4

ロ. 地域別販売実績

当中間連結会計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
東 北 地 方	82,441	99.7	87,491	97.6	+6.1
関 東 地 方	255	0.3	2,118	2.4	+727.8
合 計	82,697	100.0	89,609	100.0	+8.4